

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

2022年 3月 18日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

国産バネ工業 株式会社

代表取締役 樋山慶次

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（~~第20条第3項~~・~~第20条第4項~~・~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定（~~変更~~）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	国産バネ工業株式会社 代表取締役 樋山 慶次
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	国産バネ工業 彦根工場
事業所の所在地	滋賀県彦根市宮田町21番地
主たる事業	細分類番号 3 1 1 3 自動車部分品・附属品製造業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	2021 年度 ~	2023 年度
---------	-----------	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針

- 事業活動において生じる環境への負荷を抑制する為に、環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的改善を図り、維持する。
- 環境保全活動を適正に実施するために、環境に関する法令、条例及び当社が同意する業界基準、地域住民協定、顧客の特記仕様等の要求事項を遵守する。
- 事業活動にあたって、資源及びエネルギーの有限性を深く認識し、それらを効率的に利用し、節約及びリサイクルに積極的に取り組み、環境負荷の低減と環境汚染の予防に努めます。
- 社員一人ひとりが、環境保全活動の重要性を自覚し、社員全員で組織化して技術的・経済的に可能な範囲で継続的に取り組み、常に意識と知識の向上に努める。具体的には下記の項目を実施する。また、取引業者に対しても理解と協力を求める。

1 資源の有効活用

2 リサイクルの推進

3 地球温暖化の抑止

4 地球環境の向上

- この環境方針は文書化し、組織で働くまたは、組織のために働くすべての人に周知するとともに、社外の要求に応じ当社ホームページにて公表する。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

彦根工場での取組

国産バネ工業彦根工場では、資源およびエネルギーの有限性を深く認識し、節約やリサイクルに積極的に取り組み、環境負荷の低減と環境汚染の予防を目的として、彦根工場におけるエネルギー使用の合理化及び管理の方法等について定め、推進の場として「彦根工場SDGs推進委員会」組織内に「エネルギー消費削減委員会」を設置している。

```
graph TD; A[代表取締役] --> B[SDGs推進室 室長]; B --> C[SDGs推進室 エネルギー消費削減委員会管理者3名]; B --> D[事務局(業務本部)]; C --> E[開発技術部]; C --> F[品質保証部]; C --> G[生産部]; C --> H[業務統括部];
```

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

■在庫削減

- ・適正在庫管理による製品製造により、生産にかかわる電力の削減を実施した。

■稼働改善

- ・生産設備の稼働効率を上昇させることで時間当たりの生産数を増やし電力削減を実施した。

■品質改善

- ・工程内不具合を減少させ、歩留まり率を向上させた。

■待機設備

- ・照明等に関し離席時の消灯、電源OFF等の運用改善を実施した。

■設備投資

- ・省エネ設備を率先導入及び組立部品の自動化設備を導入した。

■技術開発・営業戦略

- ・低燃費車両のCO2削減に寄与する先進部品開発技術の構築及び営業活動と量産化。
(省エネ&生産性向上部品提案及び省エネ寄与機能部品の提案)

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用改善対策	夏季・冬季のエコスタイル、空調温度の設定(夏季28℃、冬季22℃)照明間引き、非稼働設備主電源オフ、OA機器の節電(離席時の電源オフ、スタンバイ設定)等のエコ工場づくりの実施。温室効果ガス排出量の削減目標を経営計画に盛り込み、高い意識で取り組む。	2021年度～
2	設備導入対策	工場内の空調機、照明設備の入れ替え	2021年度～
3		生産性、生産能力改善に伴う組立装置自動化の導入	
4		省エネ加工設備の入れ替え	
5	運用改善対策	省エネ診断の実施	2022年度～
6			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1		エネルギー起源CO ₂ 以外の温室効果ガスの排出はございません。	
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

- ・国産バネ工業 彦根工場は事業活動における中長期のCO₂排出量削減目標(原単位ベース)を2030年度に2013年度比50%削減としています。
 - ・下記計画に沿って、2023年度に2013年度比42.6%削減を目指します。
- ※原単位＝温室効果ガス排出量÷生産数量(加工部品)

	実績	目標		
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CO ₂ 排出量の2013年度比削減率(原単位)	39.1%	40.3%	41.5%	42.6%

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

■低燃費車両(HV/PHEV/EV/FCV)用電装部品の製造

- ・低燃費車両向けの電気系ワイヤーハーネスに使用される高電流高圧端子などを生産することで低炭素社会づくりに寄与する。
- ・当社の固有技術及び新工法技術と省エネ設備・省人化設備用い部品加工を行うことで、製造時のエネルギー消費の削減や生産能力拡大を実現し低燃費車両の普及拡大に寄与する。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

自動車業界は自動運転や次世代エネルギーへの対応による車の進化に伴い、自動車に搭載される様々なパーツの高度化・システムの複雑化が進んでいる。弊社の生産製品はこれらのパーツやシステムに電源や信号を適切に伝える役割をに担っている。

今後、自動車業界の電動化はますます加速していくことが予想され、車載バッテリーの大型化・高圧化が同時に進むと予想され、継続して同製品の生産、および、さらなる技術開発を行うことでスマートモビリティ社会の発展へ貢献する。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	資源の有効活用	金属製品の製造工程で生じる廃金属(スクラップ)の再資源化	2022年度～
2	リサイクルの推進	製品通箱、再生トレーの使用、再生紙の使用、パレット回収等	2021年度～
3	再生可能エネルギーの導入	CO2フリー電気の導入	2024年度～
4			
5			
6			
7			
8			